



# 絵本棚を つくりましょうよ

「3.11 こども文庫」の本棚づくりのワークショップをやります。

## 2012.7.7 (sat) ~ 8 (sun)



### 日時

2012年7月7日(土) ~ 8日(日)  
10:00 ~ 16:00      10:00 ~ 16:00

### 場所

埼玉県飯能市落合445-1 杉原建築  
駐車場はありますが限りがあるので、できるだけ乗り合わせて来場ください。

### 対象

3歳位 ~ 大人      **定員** 先着50名位

### 持物

作業着・昼飯(一品持ち寄りで皆で食べます)  
着替え(成木川が傍を流れているので川遊びが出来ます)

### 主催

青梅ブンブンの会

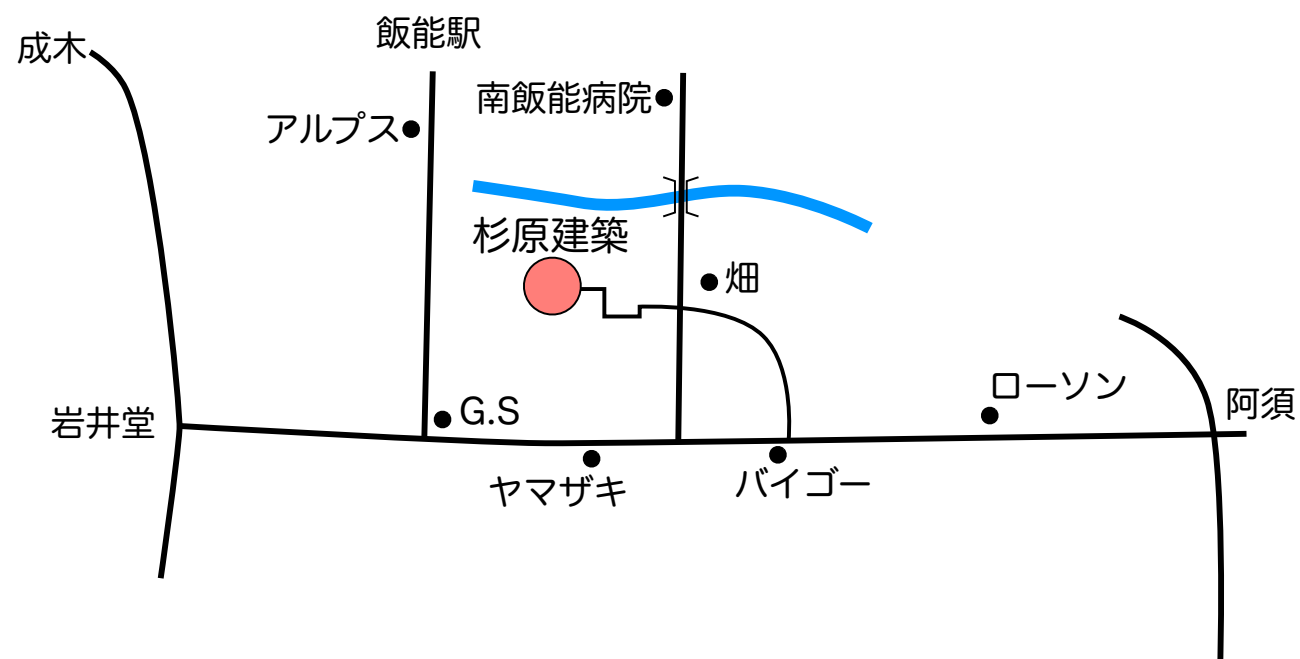
### お問合せ

星匠 090-2321-9598 takumi@co-zo.com

### その他

7日の夜はキャンプも予定しています。  
参加される方は、事前に連絡をいただくと幸いです。

### MAP



青梅ブンブンの会





みんなで絵本棚をつくり、  
相馬市の子ども達に届けます。

3.11東日本大震災で傷ついた子ども達のために、絵のできることを

## 「3.11 こども文庫」について

版画家 蟹江杏が「3.11東日本大震災で傷ついた子ども達のために、絵のできることを」と呼びかけ、世界中からは画材が、日本中からは1万冊以上の絵本が届きました。

そしてついに子ども達に送られた絵本を収蔵する「3.11こども文庫」を相馬市に設立することが決まり、9月オープンに向けて準備が進んでいます。

### 今回の企画について…

2012年6月17日に第一弾を開催し、絵本棚に使うウッドブロックを約400個制作しました。今回は棚板を加工、塗装して完成させます。

7日の夜は杉原建築作業場又は傍を流れる「成木川」にてキャンプをします。キャンプ参加を検討されている方は事前に連絡をよろしくお願いします。

子ども達のために積み木を作ってお持ち帰りできるプレゼントも企画今NOW

青梅ブンプンの会 代表 星匠 090-23221-9598 takumi@co-zo.com

### 6月17日の様子



### 私を救ってくれた絵本

私はここ数年、子どもたちと一緒に絵を描く事をしてきました。それは子どもの絵がすきだからです。いつも彼らは私に刺激を与えてくれました。その絵をみれば描く事のヒントをくれました。

津波を知った時、なぜだろう？ 自分でも不思議ですが、子どもたちを思いました。

私は母ではありません。自分勝手に、自分の絵の事ばかり考えて生きてきました。けれど、小さな頃、幾度かの辛い局面に当たった時、幸運にも私のまわりの優しい大人たちは、絵本を私にくれました。おかげで私は、時々絵本に救われた経験があります。

ページをひらけば、物語や色とりどりの絵は、辛い事柄から、見たこともない、とても素晴らしい世界へつれていってくれました。だからあの時、子どもたちに絵本を送ろうと、真剣に思いました。

同時に幼いころの私は、描く事でも救われました。だから、こんな時だからこそ子どもたちと、一緒に描きたいと思いました。

この活動は、私の思いや経験の押し付けかもしれないと、思う時もあります。けれど、相馬の子どもたちは、こんなにも、素直な絵を描いてくれました。悲しい絵かもしれませんが、どの絵も目を凝らして見れば、確実に小さな芽を見つける事ができます。

どうか多くの皆様、彼らの小さなメッセージにふれて下さい。そして、子どもたちの為の小さな絵本の文庫設立にご協力していただける事を、私は強く願っています。

3.11こども文庫 理事長・版画家 蟹江杏



3.11こども文庫